

# 伊藤まさひろ県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411



県の施策について質問する伊藤昌弘県議

## 12月定例県議会一般質問

だれもが住み良いと思えるふるさとづくりに力を注いでいる伊藤昌弘県議(佐倉市・印旛郡酒々井町選出、4期)は12月定例県議会で登壇し、「恵みの沼」印旛沼の水質浄化について県の施策を聞きました。また、県農林総合研究センターが中心になり、13年かけて開発したコメの新品種「粒すけ」の生産拡大に向けて、消費者の認知度向上への取り組みを要望しました。伊藤県議の質疑と熊谷知事ら県執行部の答弁を紹介します。

## 特定外来植物の駆除も プランクトン増殖抑制

# 印旛沼の水質浄化へ

伊藤議員 印旛沼は千葉県民にとって、かけがえのない恵みの沼であり、本県の貴重な財産になっているが都市化や経済社会活動などの影響に伴い沼の水質は悪化し、水質浄化に向けた様々な取り組みが進められてきた。しかしながら環境基準の達成には至っておらず、一層の水質浄化が求められる。そこで今ががうが印旛沼における水質浄化について、これまでの取り組み状況はどうか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

知事 県では、印旛沼に係る湖沼水質保全計画に基づき、下水道の整備、高度処理型合併処理浄化槽の設置促進、降雨の際に市街地の汚れが沼に急激に流入することを防ぐ、いわゆる「アーストフラッシュ」の対策などを実施しています。

伊藤議員 鹿島川と高崎川の河川改修の進捗状況はどうか。

県土整備部長 鹿島川については、西印旛沼から2.7キロメートルのうち約1.8キロメートルの河川改修が完成し、現在、高崎川合流点で築堤を実施しています。

伊藤議員 速やかに事業を進めるため、護岸工事を実施してます。

伊藤議員 速やかに完成し、現在、樋口橋付近の護岸工事を実施しています。

伊藤議員 には、鹿島川と高崎川の河川改修にどのように取り組んでいくのか。

県土整備部長 国の「防災、減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を活用し、前倒しの予算確保に努めています。

**再質問** 伊藤議員 印旛沼における高度処理型合併処理槽の設置促進どのよう取り組んでいるのか。またその実績はどうか。

環境生活部長 印旛沼では、植物プランクトンの増殖が問題となっていることから、県では高度処理型合併処理槽の設置促進のうち、特に窒素の除去性能が高い機種の設置に対し、平成30年度から独自の上乗せ補助を行っています。

伊藤議員 長門川の河川改修の進捗状況はどうか。

県土整備部長 長門川では、印旛沼から利根川への排水能力を増強するため、ふじ橋から酒直水門までの約4キロメートル区間ににおいて、護岸と堤防の整備を進めることとしています。

伊藤議員 令和3年度から、用地取得が不要な箇所については、護岸工事に着手しており、用地取得が必要な箇所については、用地測量を実施しているところです。

伊藤議員 の整備状況はどうか。

県土整備部長 高上げにあたっては既設の堤防が低い箇所から優先して整備することとしており、現在、西印旛沼の佐倉市土浮干拓や北印旛沼の成田市北須賀干拓などで実施しています。

伊藤議員 印旛沼の築堤整備の整備状況はどうか。

県土整備部長 高上げにあたっては既設の堤防が低い箇所から優先して整備することとしており、現在、西印旛沼の佐倉市土浮干拓や北印旛沼の成田市北須賀干拓などで実施しています。

伊藤議員 印旛沼の築堤整備の整備状況はどうか。

県土整備部長 高上げにあたっては既設の堤防が低い箇所から優先して整備することとしており、現在、西印旛沼の佐倉市土浮干拓や北印旛沼の成田市北須賀干拓などで実施しています。

伊藤議員 印旛沼は千葉県民にとって、かけがえのない恵みの沼であり、本県の貴重な財産になっているが都市化や経済社会活動などの影響に伴い沼の水質は悪化し、水質浄化に向けた様々な取り組みが進められてきた。しかしながら環境基準の達成には至っておらず、一層の水質浄化が求められる。

伊藤議員 そこで今ががうが印旛沼における水質浄化について、これまでの取り組み状況はどうか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

知事 県では、印旛沼に係る湖沼水質保全計画に基づき、下水道の整備、高度処理型合併処理浄化槽の設置促進、降雨の際に市街地の汚れが沼に急激に流入することを防ぐ、いわゆる「アーストフラッシュ」の対策などを実施しています。

伊藤議員 速やかに事業を進めるため、護岸工事を実施してます。

伊藤議員 速やかに完成し、現在、樋口橋付近の護岸工事を実施しています。

伊藤議員 には、鹿島川と高崎川の河川改修にどのように取り組んでいくのか。

県土整備部長 国の「防災、減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を活用し、前倒しの予算確保に努めています。

## 伊藤まさひろ・PROFILE

### ■略歴■

- 昭和30年 佐倉市に生まれる
- 昭和53年 日本大学法学部卒業
- 平成7年 佐倉市議会議員當選
- 平成11年 佐倉市議会議員再選
- 平成19年 千葉県議会議員當選
- 平成23年 千葉県議会議員再選
- 平成27年 千葉県議会議員3選
- 平成31年 千葉県議会議員4選

### ■現職■

- 日大習志野高校同窓会 会長
- 佐倉リトルシニア野球協会 会長

## 早期完成へ予算確保 鹿島川・高崎川改修工事

伊藤議員 鹿島川と高崎川の河川改修の進捗状況はどうか。

伊藤議員 には、鹿島川と高崎川の河川改修にどのように取り組んでいくのか。

伊藤まさひろ

〒285-0811 佐倉市表町3-6-28  
TEL.043-485-8019  
FAX.043-486-1616

HPをご覧下さい。... 検索 ちば自民党 → 議員リスト → 県議会議員 → 佐倉市・酒々井町

令和5年1月15日(日曜日)

## 伊藤まさひろ県議会リポート

# 米の新品種「粒すけ」

熊谷知事ら県執行部  
◆の答弁に対して要望  
をする伊藤県議

伊藤議員 本県で育成し、  
令和2年にデジューしたコ  
メの新品種「粒すけ」の栽  
培面積は県全体の比率で4  
%程度と、50%を超える「コ  
シヒカリ」の10分の1にも  
満たない状況であり、さら

なる「粒すけ」の生産拡大  
が必要と考える。

そこでどうかがう、「粒す  
け」の生産拡大に向け、ど

うように取り組んでいくの  
か。

【 知事 「粒すけ」の生産を

拡大していく  
ためには、食

味が良いなど  
の優れた特性  
を引き出す栽培  
方法を普及

させるととも  
に、県民の認  
知度の向上を

図ることが重  
要です。

このため県  
では、マニュ  
アルの配付な  
どにより、食  
味を重視し

るがどうか。

伊藤議員 県内の避難所  
における非常用発電機等の  
確保状況はどうか。また、LPG  
ガス発電機等も含め一

層の充実を図るべきと考え  
ます。

伊藤議員 LPGガ  
スなど多様な燃料に  
対応した資機材の整備も含  
め、災害に強い千葉県づ  
きの実現に向け、引き続き  
積極的に取り組むよう要望

する。

伊藤議員 災害時の県の  
公用車について、LPGガス車  
も導入すべきではないか。

防災危機管理部長 今后  
も県として、燃料の供給体  
制や他県の導入事例などを  
参考にしながら、公用車の  
動力源の多様化を図る中で、  
LPGガス車についても検討

してまいります。

県土整備部長 当該路線  
の田町バイパスは、線形不  
良の解消と交通混雑の緩和  
を図るため、佐倉市田町か  
ら岩名までの1.5キロメートル  
で、鹿島川の整備、鉄道の橋梁  
架け換えと連携しながら、  
現道拡幅やバイパス整備を

進める事業です。

伊藤議員 県道宗吾酒々井  
線田町バイパスの進捗状況  
はどうか。

伊藤議員 延長800メートル  
における歩道整備の進捗状況  
はどうか。

伊藤議員 県道宗吾酒々井  
線の区間で歩道整備を行っ  
ています。

これまで、約3割の用地  
を取得し、延べ800メートルの歩  
道整備を実施しており、今

年度も、引き続き、用地取

# 生産拡大へ認知度アップを

伊藤議員 調査ほ  
場における栽培試験  
の定着をどのように進めて  
おられますか。

農林水産部長 県では、  
令和4年産の飼料用米の目

標面積を過去最大の1万ヘク  
タールに設定し、主食用米から

転換を強力に推進した結果、  
作付面積は、1万706ヘク

**輸入飼料の価格高騰**  
**飼料用米役割重要に**

伊藤議員 本県の今年の  
飼料用米の生産実績はどう  
か。また、今後、飼料用米

の定着をどのように進め  
いくのか。

伊藤議員 本県に適した「アキヒカリ」  
による生産の拡大を図るこ  
とで、生産の拡大を図るこ  
ともに、生産ほ場の集約化

の促進など、効率的な生産  
への取り組みを支援するこ  
とにより、飼料用米の定着

を図ってまいります。

本県に適した「アキヒカリ」  
による生産の拡大を図るこ  
ともに、生産ほ場の集約化

が高まっている中、飼料用  
米の果たす役割はますます  
重要となつております。

伊藤議員 飲食文化の発展に  
より、国産飼料の需要

となり、目標を上回りました。

近年の輸入飼料の価格高



## 廃プラスチックの不法堆積撤去指導

伊藤議員 佐倉市上別所  
地先における廃棄物の不法  
堆積事案の発生経緯及び現  
在の取り組み状況はどうか。

環境生活部長 県は、令  
和2年6月に、有価物と称  
を指導しました。

しかし、行為者は指導・

現実、堆積量のうち約9%

### 再質問

伊藤議員 排出事  
業者を特定するため、  
月に廃棄物処理法違反で告  
発しました。

その後、廃棄物の排出事  
業者を特定するための調査  
を実施し、令和4年10月末  
現在、堆積量のうち約9%

環境生活部長 行為者が  
いたのか。

## 排出11社を特定

命令に従わ  
ず、廃プラス  
チック類等を  
等を約1万  
1千立方メート  
ルが堆積させ  
たことから、  
令和3年3月

となる約千立方メートルが排出事  
業者により撤去されていま  
す。今後も、行行為者へ撤去指

導を行うとともに、堆積物  
の調査等を継続して行い、  
排出事業者を特定して、撤  
去等を求めてまいります。

現在までに特定できた排  
出事業者は11社であり、全  
ての事業者が撤去に応じて  
います。

伊藤議員 今後と

も廃棄物処理法を嚴

格に適用していただきこと

を要望する。

有価物と称した廃棄物の

不法堆積を抑制するため、

鉄道事業者と協議しながら、

道路設計に着手してまいり

ます。

伊藤議員 鉄道事  
業者との合意に向け

### 要望

伊藤議員 LPGガ

スなど多様な燃料に

対応した資機材の整備も含

め、災害に強い千葉県づ

きの実現に向け、引き続き

積極的に取り組むよう要望

してまいります。

伊藤議員 災害時の県の

公用車について、LPGガス車

も導入すべきではないか。

防災危機管理部長 今後

も県として、燃料の供給体

制や他県の導入事例などを

参考にしながら、公用車の

動力源の多様化を図る中で、

LPGガス車についても検討

してまいります。

県土整備部長 当該路線

の田町バイパスは、線形不

良の解消と交通混雑の緩和

を図るため、佐倉市田町か

ら岩名までの1.5キロメートル

で、鹿島川の整備、鉄道の橋梁

架け換えと連携しながら、

現道拡幅やバイパス整備を

進める事業です。

伊藤議員 鉄道と交差する区間に

は、現在、県と鉄道事

業者で、道路と鉄道の交差

方法や、鹿島川を渡河する

鉄道橋梁の施工や将来の管

理の分担等について、早期

の合意を目指して調整を行

つおり、調整が終わり次第、

鉄道事業者と協議しながら、

道路設計に着手してまいり

ます。

伊藤議員 道路の区間で歩道整備を行

っています。

これまで、約3割の用地

を取得し、延べ800メートルの歩

道整備を実施しており、今

年度も、引き続き、用地取

得を進めているところです。